病床確保計画（確保病床に位置付けられた臨時の医療施設・入院待機施設の定員数を含む）

令和4年12月16日公表

都道府県名	病床確保計画（一般フェーズ）																		病床確保計画（緊急フェーズ）（※2）								
	フェーズ１		フェーズ２				フェーズ３			フェーズ４			フェーズ５			フェーズ６			緊急フェーズⅠ			緊急フェーズⅡ			緊急フェーズⅢ		
	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準
	うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分	
01 北海道	1,649	82	フェーズ１の確保病床数の40～60%程度が使用された段階で、疫学調査の結果や地域での感染の発生状況を踏まえて判断	1,859	97	フェーズ２の確保病床数の40～60%程度が使用された段階で、疫学調査の結果や地域での感染の発生状況を踏まえて判断	2,284	116											フェーズ３の確保病床数の60～80%程度が使用された段階で、疫学調査の結果や地域での感染の発生状況を踏まえて判断	2,470	116						
	0	0		0	0		0	0												186	0						
02 青森県	371	31	感染者の新増 1週間当たりの新規陽性者21人以上	371	31	感染者の急増 1週間当たりの新規陽性者71人以上 療養者数101人以上	383	31	爆発的な感染拡大 3週間後の病床使用率が50%以上	383	31	爆発的な感染拡大 1週間当たりの新規陽性者701人以上 療養者数1001人以上 病床使用率50%以上	405	31				病床使用率70%超	405	31							
	0	0		0	0		0	0		0	0		0	0						0	0							
03 岩手県	208	32	確保病床の使用率が20%を超える日が、数日続いた日の翌日	348	34														確保病床の使用率が50%を超えた日の翌日	435	36							
	0	0		0	0															0	0							
04 宮城県	269	15	フェーズ１の病床占有率が５０％を超えた段階で、病院長等会議を緊急に開催の上、総合的に判断	295	18	フェーズ２の病床占有率が５０％を超えた段階で、病院長等会議を緊急に開催の上、総合的に判断	333	20	フェーズ３の病床占有率が５０％を超えた段階で、病院長等会議を緊急に開催の上、総合的に判断	385	26	フェーズ４の病床占有率が５０％を超えた段階で、病院長等会議を緊急に開催の上、総合的に判断	455	45				病院長等会議を緊急に開催の上、総合的に判断	610	55							
	0	0		0	0		0	0		0	0		0	0						0	0							
05 秋田県	49	1	県内感染者１名発生	75	6	週当たり新規感染者数７人／フェーズ２病床の３０％	99	10	週当たり新規感染者数25人／フェーズ３病床の３０％	140	13	週当たり新規感染者数50人／フェーズ４病床の３０％	220	15	週当たり新規感染者数100人／フェーズ５病床の３０％	311	24		１日当たりの新規感染者が72人を超え、医療がひっ迫した状態となった時	311	24							
	0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0			0	0							
06 山形県	18	0	・二次医療圏において、患者が１名以上発生した場合。 ・県内で感染経路不明の患者が２名以上発生した場合。	112	20	・患者が増加し、感染症指定医療機関のみでは対応が困難となることが想定される場合	162	26	・患者が増加し、感染症指定医療機関とそれを支援する医療機関での受入調整が困難となることが想定される場合。	271	26							患者が急増し、フェーズ４対応医療機関の病床での受入調整ができないほど病床が逼迫することが想定される場合	290	26	患者が急増し、中等症以上の入院が必要な患者を受入調整できないほど病床が逼迫することが想定される場合	320	26				
	0	0		0	0		0	0		0	0									0	0		30	0				
07 福島県	577	28	週当たり新規感染者数2.5人／10万人となった日	673	39	週当たり新規感染者数5人／10万人となった日	774	46											週当たり新規感染者数15人／10万人となった日	846	46							
	0	0		8	0		8	0												8	0							
08 茨城県 (※1)	100	10	引上げ時：入院者数が引上げ後の50%が見込まれる場合 引下げ時：入院者数が現フェーズの５０％を目安に縮小	200	20	引上げ時：入院者数が引上げ後の50%が見込まれる場合 引下げ時：入院者数が現フェーズの５０％を目安に縮小	300	30	引上げ時：入院者数が引上げ後の50%が見込まれる場合 引下げ時：入院者数が現フェーズの５０％を目安に縮小	400	30	引上げ時：入院者数が引上げ後の50%が見込まれる場合 引下げ時：入院者数が現フェーズの５０％を目安に縮小	500	50	引上げ時：入院者数が引上げ後の50%が見込まれる場合 引下げ時：入院者数が現フェーズの５０％を目安に縮小	600	60	引上げ時：入院者数が引上げ後の50%が見込まれる場合 引下げ時：入院者数が現フェーズの５０％を目安に縮小	800	70	引下げ時：入院者数が現フェーズの５０％を目安に縮小	949	80				
	0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0			0	0		0	0				
09 栃木県	406	17	病床使用率が20%以上になった日	474	26	病床使用率が50%以上になった日	671	46											病床使用率が50%以上になった日	671	46							
	102	0		102	0		102	0												102	0							
10 群馬県	252	10	入院患者数100～150人となった日	366	17	入院患者数150～200人となった日	455	21	入院患者数250～300人以上となった日	681	37								入院患者数250～300人以上となった日	681	37							
	0	0		0	0		0	0		0	0									0	0							
11 埼玉県	500	50	病床使用率が50%以上となった２週間後	900	90	病床使用率が50%以上となった２週間後	1,300	130	病床使用率が50%以上となった２週間後	1,700	170								病床使用率が50%以上となった２週間後	2,206	239							
	0	0		0	0		0	0		0	0									130	0							
12 千葉県	1,063	78	国のレベルⅡ相当	1,744	125														国のレベルⅢ相当	1,882	166							
	30	0		189	0															224	0							
13 東京都 （※4）	5,169	383	病床使用率が４０％超かつ上昇傾向など、総合的に判断	7,477	629														病床使用率が４０％超かつ上昇傾向など、総合的に判断	7,477	500							
	912	0		912	0															912	0							
14 神奈川県	1,000	100	フェーズ１の確保病床の85%を超えることが想定される３週間前の日	1,300	130	フェーズ２の確保病床の85%を超えることが想定される３週間前の日	1,700	160	フェーズ３の確保病床の85%を超えることが想定される３週間前の日	2,200	210								フェーズ４の確保病床の85%を超えることが想定される３週間前の日	2,600	270							
	0	0		0	0		0	0		0	0									0	0							
15 新潟県	393	50	県警報発令から移行 人口10万人あたり10人以上／週発生（公表日ベース）かつ 感染経路不明割合30%以上	473	99	県さらなる警報発令から移行 人口10万人あたり25人以上／週発生（公表日ベース）かつ 感染経路不明割合30%以上	607	112	緊急事態宣言発令相当	694	112								緊急事態宣言発令相当	694	112							
	0	0		0	0		0	0		0	0									0	0							
16 富山県	160	12	入院者数がおおよそ75人以上となった日から7日後 （人数は目安であり、感染状況等を総合的に勘案して決定）	246	14	入院者数がおおよそ150人以上となった日から7日後 （人数は目安であり、感染状況等を総合的に勘案して決定）	492	36											入院者数がおおよそ300人以上となった日から7日後 （人数は目安であり、感染状況等を総合的に勘案して決定）	573	36							
	0	0		0	0		0	0												0	0							
17 石川県	194	32	フェーズ１の病床使用率が50%を超えた場合	271	33	フェーズ２の病床使用率が50%を超えた場合	299	37											フェーズ３の病床使用率が50%を超えた場合	400	37	緊急フェーズⅠの病床使用率が50%を超えた場合	523	41				
	0	0		0	0		0	0												0	0		0	0				
18 福井県	149	6	入院患者が100人に達した日から概ね5日以内	215	13	入院患者が145人に達した日から概ね5日以内	319	20	入院患者が215人に達した日から概ね3日以内	505	24								入院患者が215人に達した日から概ね3日以内	505	24							
	0	0		0	0		0	0		100	0									100	0							
19 山梨県	130	7	入院患者数30名以上	189	13	入院患者数60名以上	268	19	入院患者数120名以上	393	24	入院患者数180名以上	444	24					入院患者数180名以上	444	24							
	0	0		0	0		0	0		0	0		0	0						0	0							
20 長野県	161	30	・県内４ブロックのうち、１つでもブロック別確保病床使用率が10%を超えると見込まれるとき	350	34	・全県の確保病床使用率が25%を超え、かつブロック別確保病床使用率が３つ以上のブロックで40%を超えると見込まれるとき ・医療非常事態宣言が発出されたとき	531	43											確保病床使用率が全県で50%を超える恐れがあるとき	557	43	確保病床使用率が全県で70%を超える恐れがあるとき	681	43				
	0	0		0	0		0	0												0	0		0	0				
21 岐阜県	255	38	即応病床に対する病床使用率が３０％を超えた場合	352	45	即応病床に対する病床使用率が３０％を超えた場合	581	49	即応病床に対する病床使用率が３０％を超えた場合	695	51	即応病床に対する病床使用率が３０％を超えた場合	788	51	即応病床に対する病床使用率が３０％を超えた場合	886	59		「一般フェーズ4」において、短期間で急激な感染者数が増加し、受入病床が逼迫することで、入院が必要な方がただちに入院できない状況となった場合	886	59							
	0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0			0	0							
22 静岡県	444	42	病床占有率15%以上、新規感染者数7.5人/週/人口10万人以上、予測ツールで3週間後の必要病床数が50%超	538	55	予測ツールで3週間後の必要病床数が確保病床数に達する場合、または病床使用率が50%超の場合	833	58											予測ツールで3週間後の必要病床数が確保病床数に達する場合、または病床使用率が50%超の場合	833	58							
	0	0		0	0		0	0												0	0							
23 愛知県	1,108	117	感染拡大時：単日の入院患者６３８人以上 感染縮小時：７日間平均の入院患者１，０６４人未満	1,690	148														感染拡大時：単日の入院患者１，０６４人以上 感染縮小時：７日間平均の入院患者１，７０３人未満	1,948	164	感染拡大時：単日の入院患者１，７０３人以上	2,540	210				
	0	0		0	0															0	0		411	0				
24 三重県	248	41	フェーズ１の病床使用率40%以上となった日から14日後	374	46	フェーズ2の病床使用率40%以上となった日から14日後	495	50											フェーズ３の病床使用率40%以上となった日から14日後	560	50	緊急フェーズⅠの病床使用率40%以上かつ重症病床使用率20%以上となった日から14日後	596	56				
	0	0		0	0		0	0												0	0		0	0				
25 滋賀県	195	29	フェーズ１の病床数の50%程度が利用された段階で総合的に判断	286	39	フェーズ２の病床数の50%程度が利用された段階で総合的に判断	373	44	フェーズ３の病床数の50%程度が利用された段階で総合的に判断	416	44								日々のモニタリングの結果、2週間後に感染の急拡大が予測される場合等に総合的に判断。	501	52							
	0	0		0	0		30	0		30	0									30	0							
26 京都府	822	161	入院者数、新規入院者数等の状況を見ながら、専門家の意見も踏まえて総合的に判断	1,033	175														—	1,033	175							
	30	0		110	0															110	0							

都道府県名	病床確保計画（一般フェーズ）															病床確保計画（緊急フェーズ）（※2）							
	フェーズ１		フェーズ２			フェーズ３			フェーズ４			フェーズ5			フェーズ6			緊急フェーズⅠ			緊急フェーズⅡ			緊急フェーズⅢ		
	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け
	うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分
27 大阪府（※5）	1,700	150	重症：およそ90人以上（フェーズ１の病床数150床の60%） 軽症中等症：およそ620人以上（フェーズ１の病床数1,550床病床数の40%）	2,230	230	重症：およそ161人以上（フェーズ２の病床数230床の70%） 軽症中等症：およそ800人以上（フェーズ２の病床数2,000床の40%）	2,660	310	重症：およそ217人以上（フェーズ３の病床数310床の70%） 軽症中等症：およそ940人以上（フェーズ３の病床数2,350床の40%）	3,360	410	重症：およそ287人以上（フェーズ４の病床数410床の70%） 軽症中等症： フェーズ５の緊急避難的確保病床を除く3,650床運用要請：およそ1,475人以上（フェーズ４の病床数2,950床の50%） 緊急避難的確保病床運用要請：およそ2,190人以上（フェーズ5の病床数3,650床の60%）	4,930	580				重症：およそ287人以上（フェーズ４の病床数410床の70%） 軽症中等症： フェーズ５の緊急避難的確保病床を除く3,650床運用要請：およそ1,475人以上（フェーズ４の病床数2,950床の50%） 緊急避難的確保病床運用要請：およそ2,190人以上（フェーズ5の病床数3,650床の60%）	4,930	580						
	0	0		0	0		0	0		0	0		0	0					0	0						
28 兵庫県	800	40	病床利用率10%以上	1,000	70	病床利用率30%以上	1,200	100	病床利用率50%以上	1,400	120	感染状況等を踏まえ総合的に判断	1,712	142				感染状況等を踏まえ総合的に判断	1,712	142						
	0	0		0	0		0	0		0	0		0	0					0	0						
29 奈良県	今後の感染状況を踏まえて、決定	今後の感染状況を踏まえて、決定	上り：病床使用率50%を１つの目安として、感染状況を踏まえて決定 下り：感染状況を踏まえて、今後検討	314	25	下り：感染状況を踏まえて、今後検討	566	36										感染者が増え、救急搬送の受入先が見つからないような状況が発生した時	566	36						
	0	0		0	0		0	0											0	0						
30 和歌山県	176	16	国内外の状況を総合的に判断	334	17	基準日（週当たり新規感染者数630人/10万人）等、総合的に判断	540	26	基準日（週当たり新規感染者数1170人/10万人）等、総合的に判断	636	26							基準日（週当たり新規感染者数1170人/10万人）等、総合的に判断	636	26						
	0	0		0	0		0	0		0	0								0	0						
31 鳥取県	144	19	入院患者数がフェーズ１の即応病床数の4割に達する日	239	30	入院患者数がフェーズ２の即応病床数の4割に達する日	351	47										感染状況を総合的に判断して対応	351	47						
	0	0		0	0		5	0											5	0						
32 島根県	140	5	入院患者総数が30人となった日若しくは重症者が3人となった日	167	10	入院患者総数が50人となった日	223	16	入院患者総数が100人となった日	279	25	入院患者総数が100人を超えフェーズ4に入ってもまだ、大規模なクラスターの発生等、患者の増加が見込まれ、総合的な観点から病床確保が必要と判断した日	387	28				入院患者総数が100人を超え一般フェーズ4に入ってもまだ、大規模なクラスターの発生等、患者の増加が見込まれ、総合的な観点から病床確保が必要と判断した日	387	28						
	0	0		0	0		0	0		0	0		0	0					0	0						
33 岡山県	135	12	直近１週間における新規感染者数が10万人当たり2.5人を超えたとき	201	21	稼働病床が100床を超えたとき	325	33	稼働病床が200床を超えたとき	600	67							稼働病床が200床を超えたとき	600	67						
	0	0		0	0		0	0		0	0								0	0						
34 広島県	359	26	新規感染者が継続的に発生	412	26	直近７日間の10万人当たり新規感染者数4人以上	480	33	直近７日間の10万人当たり新規感染者数15人以上	541	39							直近７日間の10万人当たり新規感染者数25人以上	801	50	直近７日間の10万人当たり新規感染者数50人以上	879	54			
	0	0		19	0		19	0		19	0								39	0		39	0			
35 山口県	136	8	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	280	12	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	527	23	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	680	47							陽性者数の増減状況等を総合的に判断	780	47						
	0	0		0	0		0	0		0	0								0	0						
36 徳島県	128	6	入院患者数が20人となった日	152	6	入院患者数が70人となった日	185	16	入院患者数が120人となった日	254	25	入院患者数が180人となった日	286	25				入院患者数が180人となった日	286	25						
	0	0		0	0		0	0		0	0		22	0					22	0						
37 香川県	146	12	確保病床使用率が20%を超える段階	192	16	確保病床使用率が35%を超える段階	229	26	確保病床使用率が50%を超える段階	307	29							確保病床使用率が80%を超える段階	334	29						
	0	0		0	0		0	0		0	0								20	0						
38 愛媛県	302	5	①週当たり新規陽性者数34人（2.5人/10万人）に到達した場合 ②入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の10%（43人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	341	9	①週当たり新規陽性者数101人（7.5人/10万人）に到達した場合 ②入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の20%（86人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	429	19										入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の50%（215人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	480	26						
	0	0		0	0		0	0											10	0						
39 高知県	100	16	ﾌｪｰｽﾞ１の病床数の10%が利用された段階	164	16	ﾌｪｰｽﾞ２の病床数の20%が利用された段階	218	16	ﾌｪｰｽﾞ３の病床数の35%が利用された段階	273	24	ﾌｪｰｽﾞ4の病床数の45%が利用された段階	365	24				ﾌｪｰｽﾞ5の病床数の60%が利用された段階	413	58						
	0	0		0	0		0	0		0	0		0	0					0	0						
40 福岡県	373	77	入院者数100人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	565	99	入院者数160人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	884	120	入院者数240人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	1,347	195	入院者数660人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	2,024	217				－	2,024	217						
	0	0		0	0		0	0		0	0		0	0					0	0						
41 佐賀県	146	3	入院患者数が25人となったとき	224	5	入院患者数が50人となったとき	415	14	入院患者数が90人となったとき	564	40	入院患者数が130人となったとき	584	48				入院患者数が130人となったとき	584	48						
	0	0		0	0		26	0		50	0		50	0					50	0						
42 長崎県	133	11	即応病床の3分の1以上使用	201	16	即応病床の2分の1以上使用	363	16	二次医療圏ごとに確保する即応病床の2分の1以上を使用	511	30							新規感染者数の7日間移動平均が33人を超えたとき	620	30	総合的に判断	681	30			
	0	0		0	0		0	0		0	0								0	0		0	0			
43 熊本県	684	51	以下のいずれかに該当した場合 ① 即応病床使用率が２５％を上回る状況が続く場合 ② その他、高齢者施設でのクラスター発生等により体制移行が必要となる場合	808	54													即応＋準備病床使用率が６０％を上回る状況が続く場合	936	59	即応＋準備病床＋緊急時確保病床使用率が７０％を上回る状況が続く場合	1,072	66			
	0	0		0	0														0	0		0	0			
44 大分県	278	34	・重症者用病床使用率10%以上・病床使用率10%以上・感染経路不明者割合30%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	288	34	・重症者用病床使用率20%以上・病床使用率20%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	398	42	・重症者用病床使用率50%以上・病床使用率50%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	552	43						・重症者用病床使用率50%以上・病床使用率50%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	552	43						
	0	0		0	0		0	0		0	0								0	0						
45 宮崎県	277	13	新規感染者や入院患者の状況等を踏まえ、総合的に判断	378	17													新規感染者や入院患者の状況等を踏まえ、総合的に判断	437	17						
	0	0		0	0														0	0						
46 鹿児島県	45	3	フェーズ１の即応病床に対する３日間の病床使用率が ３０％以上に達した場合	294	6	フェーズ２の即応病床に対する３日間の病床使用率が ４０％以上に達した場合	405	11	フェーズ３の即応病床に対する３日間の病床使用率が ５０％以上に達した場合	501	25							フェーズ４の病床使用率が６０％以上に達した場合	642	29	緊急フェーズⅠの病床使用率が７０％以上に達した場合	708	31			
	0	0		0	0		0	0		0	0								0	0		0	0			
47 沖縄県	115	12	入院患者が10人を超えたとき	177	18	入院患者が23人を超えたとき	303	28	入院患者が150人を超えたとき	520	39	入院患者が200人を超えたとき	678	48				入院患者が500人を超えたとき	789	53	入院患者が630人を超えたとき	869	53	入院患者が720人を超えたとき	945	59
	0	0		0	0		0	0		0	0		25	0					25	0		25	0		25	0
全国計（※3）	病床確保計画（一般フェーズ）		確保病床（計画）数	46,165		確保病床（計画）数（うち臨時の医療施設等分）	1,572		確保病床（計画）数（うち重症者向け）	4,000		確保病床（計画）数（うち重症者向け）（うち臨時の医療施設等分）	0			病床確保計画（緊急フェーズ）		最大確保病床（計画）数	51,029	最大確保病床（計画）数（うち臨時の医療施設等分）	2,414	最大確保病床（計画）数（うち重症者向け）	4,238	最大確保病床（計画）数（うち重症者向け）（うち臨時の医療施設等分）	0

（※1）茨城県は病床確保計画の最終フェーズを「フェーズ７」としている。フェーズ７への移行基準、フェーズ７における「即応病床（計画）数」は下記の通り。

フェーズ7への移行基準	フェーズ7における即応病床（計画）数	うち臨時の医療施設等分	うち重症者向け	うち臨時の医療施設等分
引上げ時：入院者数が引上げ後の50%が見込まれる場合 引下げ時：入院者数が現フェーズの５０％を目安に縮小	700	0	60	0

（※2）病床確保計画（緊急フェーズ）は、感染者急増時の緊急的な患者対応方針に基づく計画を指す。

（※3）「即応病床（計画）数」、「即応病床（計画）数（うち臨時の医療施設等分）」、「うち重症者向け即応病床（計画）数」、「うち重症者向け即応病床（計画）数（うち臨時の医療施設等分）」の全国計については、各自治体の一般フェーズ・緊急フェーズにおける各最終フェーズにおける数を合計している。

（※4）東京都の重症者向け病床数はオミクロン株の特性を踏まえた東京都基準（特定集中治療室管理料又は救命救急入院料を算定する病床及び人工呼吸器又は体外式心肺補助（ＥＣＭＯ）による管理が必要な患者用の病床又はハイフローセラピーを実施する患者用の病床）により集計したものであり、国基準（集中治療室（ICU）・ハイケアユニット（HCU）等での管理、人工呼吸器又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な患者用の病床）により集計した東京都の重症者向け病床数は一般フェーズにおける最終フェーズ及び緊急フェーズにおける
最終フェーズにおいて1,114床となる（その場合、一般フェーズにおける最終フェーズの重症者向け確保病床数は全国合計で4,485床、緊急フェーズにおける最終フェーズの重症者向け確保予定病床数は全国合計で4,723 床となる）。

（※5）大阪府の重症者向け病床数は大阪府基準により集計したもの。またフェーズ５、及び緊急フェーズⅠの即応病床（計画）数は、重症病床がフェーズ３以下である想定で軽症中等症病床に積み増した病床を含むため、最大運用可能病床数とは異なる。